



北山クラシック倶楽部2017
 ネマニャ・ラドウロヴィチ&フレンズ
 “悪魔のトリル”

ネマニャ・ラドウロヴィチ(ソロ・ヴァイオリン) Nemanja Radulović, Solo Violin
 ギヨーム・フォンタナローザ(ヴァイオリン) Guillaume Fontanarosa, violin
 フレデリック・ドゥシュ(ヴァイオリン) Frédéric Dessus, violin
 ベルトラン・コス(ヴィオラ) Bertrand Causse, viola
 アンヌ・ピラニエ(チェロ) Anne Biragnet, cello
 ナタナエル・マルヌリー(コントラバス) Nathanael Malnoury, Doublebass

Nemanja Radulović & Friends Devil's Trills

Tuesday 20 June 2017

クライスラー(デュパン編):ブニャーニの様式による前奏曲とアレグロ
 Kreisler (arr. Dupin): Prelude and Allegro in the Style of Pugnani
 J.S.バッハ(デュパン編):シャコンヌ(無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番ニ短調BWV1004)
 J.S. Bach (arr. Dupin): Chaconne (from Partita No.2 for Solo Violin in D minor BWV1004)
 ヴェリオ・バレエの情景
 Beriot: Scène de Ballet
 パガニーニ:カンタービレ
 Paganini: Cantabile
 ウィリアムズ(カサール編):映画「シンダラーのリスト」のテーマ
 Williams (arr. Cassar): from "Schindler's List"
 モーツァルト(セドラル編):アダージョとロンド
 Mozart (arr. Sedlar): Adagio and Rondo
 ニ短調BWV1004より
 クストリツァ(セドラル編):これが男のやり方 — 映画「ライフ・イズ・ミラクル」より
 Kusturica (arr. Sedlar): Ovo je muški svet - from "Life Is a Miracle"
 モンティ(カサール編):チャールダーシュ
 Monti (arr. Cassar): Csárdás
 ビゼー(デュパン編):リバネラ(歌劇「カルメン」より)
 Bizet (arr. Dupin): L'amour est un oiseau rebelle (from "Carmen Fantasy")
 ライフ・イズ・ミラクルより

2017年6月20日(火) 19:00開演(18:30開場)
京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ
 Kyoto Concert Hall Ensemble Hall Murata

全席指定 ¥5,000 *会員 ¥4,500

一般発売:2017年2月18日(土) | 会員発売:2017年2月11日(土)

*京都コンサートホール・ロームシアター京都Club(会費:1,000円)と京響友の会の会員が対象です。

主催 ■Eアーツカンパニー 共催 ■京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 後援 ■村田機械株式会社
 お問い合わせ ■京都コンサートホール tel.075-711-3231 10:00~17:00 / 第1・第3月曜日休館(休日の場合は翌日)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



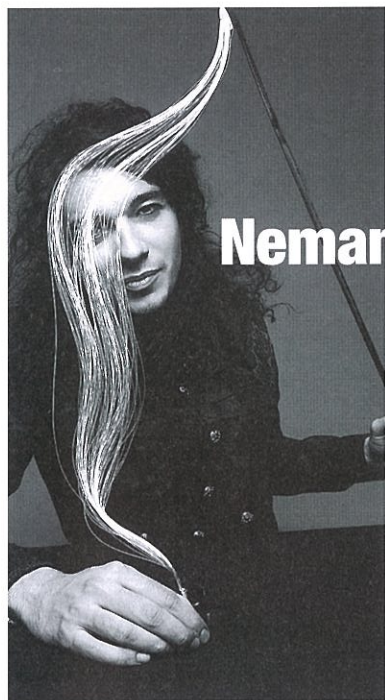
水無月の古都に、音楽の神ミューズからの使者が舞い降りる。

悪魔に魂を献上したおかげでヴァイオリンの化身となり、極上の音楽を奏でたと伝えられるニコロ・パガニーニの魂は、はたしてこのヴァイオリニストに乗り移ったのだろうか。そんな妄想さえも抱かずにはいられないほど、楽器を通じて音楽との語らいを楽しんでいるのがネマニャ・ラドゥロヴィチという演奏家である。

1985年、混沌としたバルカン半島のユーゴスラヴィア(当時)に生まれたネマニャは、数々のコンクールを制覇してきたエリート・プレイヤーだが、抑えきれない独創性が彼の音楽スタイルを変貌させた。それは新しさや自由な精神にあふれ、どのような曲調であっても生命力に満ちている。オリジナリティあふれるアレンジでJ.S.バッハやモーツァルトの名曲をリフレッシュさせるが、決してクラシックを逸脱したものではない。ロック・スターのようなルックスに惑わされそうになるが、彼と仲間たちによる「悪魔のトリル」は(21世紀的クラシック)のプレゼンターなのだ。

ネマニャをご存知の方も、そうでない方も。CD等で彼らの演奏を聴きライブ体験をしたいという方も。そして、未知の音楽家と出会うことに幸福を感じるという方も。彼らがステージに登場し、ホールの空気が少しだけ熱気を帯びる瞬間を感じていただけるだろう。そして、ミューズに愛された音楽が始まるのだ。

オヤマダ アツシ (音楽ライター)



Nemanya Radulović Friends Devil's Trills



ネマニャ・ラドゥロヴィチ(ソロ・ヴァイオリン)、ギヨーム・フォンタナローザ(ヴァイオリン)
フレデリック・ドゥシュ(ヴァイオリン)、ペルトラン・コス(ヴィオラ)、アンヌ・ピラニエ(チェロ)、
ナタエール・マルヌリー(コントラバス) Tuesday 26 June 2017 © 王子ホール/撮影:横田敦史

ネマニャ・ラドゥロヴィチ(ヴァイオリン)

1985年セルビア(旧ユーゴスラヴィア)生まれ。7歳で音楽を始め、1997年セルビア共和国文部省より特別賞「タレント・オブ・ザ・イヤー1997」を授与された。1998年にはドイツへ留学し、ザールランド州立音楽演劇大学でJ.エプスタインに師事、引き続きベオグラド大学の芸術音楽学部でD.ミハイロヴィッチに師事する。

14歳で渡仏。15歳でパリ国立高等音楽院に入学、P.フォンタナローザに師事、さらにメニューイン、アッカルドの指導を受ける等、研鑽を積む。1995年ストレサ国際コンクール(イタリア)、96年コチアン・ヴァイオリン・コンクール(チェコ)、97年パリスドヴァリョーナ・コンクール(リトアニア)、2001年エネスコ国際コンクール(ルーマニア)、2003年ハノーファー国際コンクール(ドイツ)の5つのコンクールで第一位を獲得しているほか、1997年リピンズキ・ヴィエニアフスキ国際コンクール(ポーランド)および98年メニューイン国際ヴァイオリン・コンクールで審査員特別賞、2001年ストラディヴァリウス・コンクール(クレモナ)一位なしの第二位を獲得。

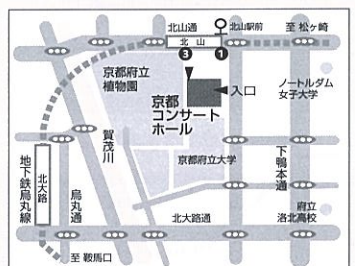
これまでにフランス国立放送フィル、ミュンヘン・フィル、北ドイツ放送響、ベルリン響、チューリッヒ・トーンハレ管、ロイヤル・フィル、モントリオール響を含むオーケストラ、ジョン・ミュンフン、フィリップ・ベンダー、ヘス・ロベス＝コボス、ローレンス・フォスターをはじめとする指揮者と共演している。また、アムステルダム・コンセルトヘボウ、パリのシテ・ドゥ・ラ・ミュージク、アテネのメガロン、ブリュッセルのバレ・デ・ボザール、ケルンのフィルハーモニー、プエス・アイレスのテアトロ・コロソ、ニューヨークのカーネギーホール、サントリーホール等で公演を行う。

その圧倒的な存在感で日本における人気も高く、これまでに東京交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪フィルハーモニー交響楽団をはじめとするオーケストラとの共演やリサイタルで来日。また2011年に自身がリーダーを務める弦楽ユニット「悪魔のトリル」との初来日公演を行い、大反響を呼んだ。

CDには、無伴奏作品集、メンデルスゾーンの協奏曲集、「悪魔のトリル」とのアルバム、ベートーヴェン・ソナタ集(ピアノ:スーザン・マノフ)、フランスとセルビアの奏者で結成したアンサンブル「ドゥーブル・サンズ」とのアルバム「ファイブ・シーズンズ」、フランスを代表するハープ奏者マリエル・ノールマンとのデュオ作品集、そして、ドイツ・グラモフォンと契約後にリリースした「パガニーニ・ファンタジー」、「ジャーニー・イースト」そして最新アルバム「バッハ」がある。

京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地26
http://www.kyotoconcerthall.org



地下鉄丸太線「北山」駅③番出口南へ徒歩5分

北山クラシック倶楽部2017 ネマニャ・ラドゥロヴィチ&フレンズ「悪魔のトリル」

2017年6月20日(火) 19:00開演(18:30開場)

全席指定 ¥5,000
*会員 ¥4,500

一般発売:2017年2月18日(土) *会員発売:2017年2月11日(土)

*京都コンサートホール・ロームシアター京都Club(会費:1,000円)と京響友の会の会員が対象です。

●チケットのご予約

京都コンサートホールチケットカウンター tel.075-711-3231 10:00~17:00/第1・第3月曜日休館(休日の場合は翌日)

ロームシアター京都チケットカウンター tel.075-746-3201 10:00~19:00/年中無休(臨時休館日を除く)

ローソンチケット[Lコード53060] tel.0570-084-005 24時間自動音声



オンラインチケット購入 京都コンサートホール

検索

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。